

家庭学習を組み込んで進める主体的な学び ～歴史的分野における移行措置に留意した指導について～

移行措置の一つに、「いくつかの世界の歴史に係る内容の指導に当たっての内容の取扱いについて、新学習指導要領の規定による」というものがあります。何が移行措置として求められているのか、正確に捉えて指導に反映することが大切ですが、主体的・対話的で深い学びを促すことも重要です。今回の参考資料では、新型コロナウイルス感染症に対応した主体的な学びの実現に向けての工夫を、移行措置に係る内容で考えました。



世界の歴史に係る内容における、主体的・対話的で深い学びを促す工夫（移行措置対象）

移行措置対象	指導すべき内容
世界の古代文明	<ul style="list-style-type: none"> ○人類の出現にも触れ、中国文明をはじめとして諸文明の特徴を取り扱うこと。 ○古代文明の類似点などに観点を定め、生産技術の発達、文字の使用、国家のおこりと発展、都市や巨大建造物、身分の文化などの共通する特徴に気付くことができるようにすること。 ○ギリシャ・ローマの文明については、事象を精選し、民主政や共和政など政治体制を中心に扱うこと。 ○ギリシャ・ローマの政治制度について、現代につながる面と現代の民主主義とは異なる面の両面を踏まえて理解できるようにすること。
ユーラシアの変化	<ul style="list-style-type: none"> ○モンゴル帝国の拡大によるユーラシアの結び付きについて、地理的な確認をすること。 ○モンゴル帝国がアジアからヨーロッパにまたがる広大な領域を支配し、東西の貿易や文化の交流が陸路や海路を通して行われたことに気付くことができるようにすること。
ヨーロッパ人来航の背景	<ul style="list-style-type: none"> ○中継貿易などでの中世以来のムスリム商人の活動などによる世界の結び付きに気付くことができるようにすること。 ○ポルトガルやスペインによる新航路の開拓や宗教改革によるキリスト教世界の動きに伴って、鉄砲やキリスト教が伝来して南蛮貿易が盛んになり、日本の社会に影響を及ぼしたことを扱うこと。
市民革命	【裏面で紹介】



移行措置は、令和元年度から開始しており、令和2年度の第1・2学年が対象です。指導漏れがないように、それぞれの指導すべき内容を御確認ください。なお、他の移行措置は、本資料にある「参考資料」から、確認できます。

学習展開における工夫について（移行措置の反映に加えて）

主体的・対話的で深い学びを促す視点	新型コロナウイルス感染症への対応の視点
<ul style="list-style-type: none"> ○単元など内容や時間のまとまりを見通すこと。 ⇒「単元との出合わせ方」「単元を貫く問い」「事前や事後課題」における工夫をする。 ○見方・考え方を働かせること。 ○社会との関わりを意識した課題を追究したり、解決したりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭学習を組み込むことで、学習活動を重点化すること。 ⇒予習に加え、単元の導入時の学習の「見直し」を立てる活動や、単元末において自らの学習の「振り返り」を行う活動について、ワークシート等を活用して、取り組む内容を明示した上で、家庭学習で取り扱う。



単元を通して、生徒が学びを深めていくための工夫が必要となります。



コロナ禍で、学習活動の重点化が求められたとしても、家庭学習を上手く組み込むことで、協働的に学習する時間をしっかりと確保することができます。

移行措置に留意し、家庭学習を組み込んで進める主体的な学びの具体例

【単元名】市民革命（中学校第2学年）

単元の学習の流れ

※今回は、「単元の学習の流れ」の点線で囲まれた箇所を単元としてお示しします。

課題の設定

人権思想の広がり

イギリスの政治体制の
変化

市民革命

学習のまとめ
振り返り

「市民革命」では、移行期間中に追加して指導すべき内容として

①政治体制の変化

②人権思想の発達や広がり

③現代の政治

関連付けて「フランス革命」や「アメリカの独立」などを扱うこと。

が、示されており、今回は特に③に焦点をあてた学習を紹介します。



課題の設定

「自由」について考えてみよう。

自由の女神の写真をみせ、アメリカだけでなく、フランスなどにも存在することを確認する。私たちの自由と当時の自由は違うのかと問いかける。

【単元を貫く課題】

ヨーロッパの市民革命の結果は現代にどのように受け継がれているのか。

市民革命

課題の設定

「自由の女神」、「アメリカの独立」、「フランス革命」について調べよう。

情報の収集

対策 調べ学習を家庭学習で行い、基礎的な知識を事前に習得することで、授業でスムーズに「整理・分析」ができます。



アメリカの自由の女神は、「独立」を祝い、フランスから送られたものなんだね！

フランスにも自由の女神（レプリカ）があり、アメリカがフランス革命を記念して送ったんだね！



整理・分析

調べたことを整理・分析しよう

アメリカの
独立宣言
(1776年)

フランス革命
の人権宣言
(1789年)

比較

どちらも自由などの「人権」に関する記述がある。



小学校で学んだ、日本国憲法と似ている所は何かな？

人権思想の影響を受けているよ！

関連付け

情報の収集

日本国憲法について調べよう。

例) 第〇条 〇〇権

- 日本国憲法の条文の中の「自由」に関する記述を調べる。
- 当たり前だと思っていた「自由」が憲法で保障されていることに気付く。

整理・分析

現代の日本の「自由」とフランスの「人権宣言」を比較しよう。

- 日本国憲法で保障されている「人権」と人権宣言で保障される「人権」の共通点や相違点をまとめる。
- 時代が変わっても人にとって必要不可欠な権利は変わらないことに気付く。

市民革命から現代までの推移に着目し、類似や差異について考えます。



学習のまとめ 振り返り

単元を貫く課題に対する自分の考えをまとめる。

「自由」という言葉は現在身の回りでもよく使われているが、17世紀頃から、人間にとって必要不可欠な権利である人権として欧米に広まっていった。この人権思想は、「アメリカ独立宣言」や「フランス革命」に影響を与え、世界中の抑圧に苦しむ人々に希望を与えた。日本国憲法でもフランス人権宣言と似た条文があり、時代が変わっても人にとって必要不可欠な権利はほとんどかわらないことがわかる。多くの人が戦ってやっと勝ち取った権利であるので、現代の私たちは人権が保障されていることを当たり前と思わず、人権が保障される社会を私たちが守り続けたい。

参考資料

- ・中学校学習指導要領【平成29年告示】解説 社会編
- ・小学校及び中学校の学習指導要領等に関する移行措置並びに移行期間中における学習指導について（通知）
- ・学校の授業における学習活動の重点化に係る留意事項等について（第2報）（通知）

学校で

家庭学習で

学校で

家庭学習で

学校で

家庭学習で